



高山西ロータリークラブ

No. 2199 回 例会 平成 23 年 2 月 4 日

お祝い・会員スピーチ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F

●会長 鍋島 勝雄
●幹事 中村 良平
●会報委員長 米澤 久二



「二月の湖西」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

昨日節分で本日は立春です。季節の変わり目にあたり中国では旧正月春節祭を迎える大事な時です。節分は家に居る邪鬼を退治する為



に豆を撒き(鬼は外・福は内)を行ない自分の歳に一を足した分を食べ、一年無事に過ごす事を願って家族で行われます。同じ飛騨地方でも、私の家内の実家(旧益田郡金山町)では玄関先に鯛の目に柊の葉を刺して厄除けをしていますが高山では行って無いので場所によっては色々な邪除けが有って面白いと思いました。

中国では正月より旧正月(春節)を大切にしています。節分は除夜に当たり一年間の邪気を祓う催しとして火を焚き中に竹を入れると膨張して凄いい音がしますが段々エスカレートして火薬を使用するように成りました。これが爆竹の始まりで中国の販売量はこの時期が最高に成ります。又日本の爆竹は少量の火薬量ですが中国の爆竹は大型で日本では許可が必要に對して一般に販売されていて、今日の新聞報道で死亡事故が記載されていました。

今日は立春で暦の上では春とはいえまだまだ寒い日が続きますが今日の陽気は確実に春に向かっていきます。今日から数えて八十八夜(5月3日)が茶摘みに適して新茶が出回ります。又二百十日(9月1日)は台風が多く発生する時期を指します。近年は中国では故郷に帰らず観光旅行が多くなって居る様ですが伝統文化を大切にしたいものです。



<幹事報告>

◎RI本部より

- ・国際ロータリー
およびロータリー財団 2009-2010 年度年次報告書

◎ガバナー・地区大会実行委員長より

- ・地区大会DVDビデオ送付について

◎ガバナーより

- ・2011-12 年度ロータリー財団国際親善奨学生・
世界平和フェロー募集のお知らせ

派遣年度 2012 年 7 月より

派遣人数 1 学年度国際親善奨学生 5 名程度、
世界平和フェロー 1 名

資格(抜粋)

申請時に第 2630 地区内に居住するもの。地区内にある大学または大学院に在籍するもの。あるいは勤務している職場が地区内にあるもの。2012 年 3 月までに大学 2 学年を修了していること。
*ロータリー関係者の家族には申請の資格がありません

受付締切 2011 年 4 月 30 日

◎ロータリーの友委員会より

- ・2011-2012 年度版 ロータリー手帳お買い上げのお願い
1 部 630 円 5 月下旬出来上がり予定
申し込みは 2 月 15 日(金)までに事務局まで

<例会変更>

美濃加茂 … 2 月 11 日(金)は、法定休日(建国記念の日)のため、休会
3 月 11 日(金)は、軽スポーツ家族例会のため、
13 日(日)に変更

可 茂 … 2 月 17 日(木)は、1 月 20 日(木)積雪による休会の
振替として定款による休会から通常例会へ

<受贈誌>

郡上長良川 RC(会報)、(株)クマヒラ(抜萃のつばりその七十)、
岐阜県環境生活部人権施策推進課長「人権だより No.44」

<出席報告>

| 区分 | 出席 | Make-Up | 出席者数 | 会員数 | 出席率 |
|-----|------|---------|------|------|--------|
| 前々回 | 37 名 | 2 名 | 39 名 | 44 名 | 88.64% |
| 本日 | 41 名 | - | 41 名 | 44 名 | 93.18% |

<本日のプログラム> お祝い

◎在籍周年記念表彰



小森 丈一
20 年

例会報告

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日

(写真左より)



| | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 鴻野 幸泰 | 2. 13、 | 遠藤 隆浩 | 2. 2 |
| 三浦 弘行 | 2. 28、 | 折茂 謙一 | 2. 7 |
| 野戸 守 | 2. 23、 | 鍋島 勝雄 | 2. 21 |

◎夫人誕生日 (当日、ご自宅へ花束をお届け)

寺田 一夫(当日欠席) 光江 さん 2. 2

◎結婚記念日

岡田 賛三
S 48. 2. 10



◎出席表彰

挟土 貞吉
27年

◎3ヶ月表彰

・伊藤 松寿 ・井辺 一章 ・蜘蛛 康介 ・小林 勝一
・田近 毅 ・田中 武 ・中村 良平 ・挟土 貞吉
・洞口 良一 ・米澤 久二

会員スピーチ

幻の王国

「邪馬台国」を探る

河渡 正暁

1. 卑弥呼が君臨した3世紀に日本にあったとされる王国



この王国が日本列島のどこにあったのか分かっていない。最も有力なのは九州・近畿の二か所であり、古くは新井白石や本居宣長も大いに首をひねっている。今年はそれぞれの研究者が論争を始めた 1910 年の、いわゆる「邪馬台国論争」から 100 年にあたるが、長年の論争に決着はつくのか？

2. 今、纏向で行われた発掘調査に研究者の注目が集まる

奈良県桜井市の纏向遺跡中心部で見つかった王宮の跡、ここで邪馬台国の決定的証拠が見つかった。王の存在をうかがわせるものが続々と出土した。桃の種が 2700 個と甚大な数で、桃と邪馬台国を結び付ける重要な鍵が中国にあった。浮かび上がってきた王国の姿、果たしてそれは邪馬台国なのか？古代史最大の謎に挑んだ発掘調査は 1971 年(昭和 46 年)に始まり、これまで 166 回に上る。

3. 纏向遺跡

奈良県桜井市の大神神社は日本最古の神社であり、三輪山を御神体として祀っている。その山裾に広がる奈良盆地の東南部にあり、東西 2km、南北 1.5km の当時としては国内最大の遺跡である。纏向遺跡が邪馬台国の候補地とされるのは、ここが前方後円墳をシンボルとする大和王朝の発祥地だからである。日本を統一し、飛鳥・奈良へと発展した政権が生まれるからには、その前に邪馬台国があったのではないかと考えられている。

4. 2009 年、邪馬台国を前進させる大きな発掘

柱の穴が見つかる。3 世紀の地層から建物の柱の跡が 300 見つかった。幅 19m、奥行き 12m と当時としては国内最大の建物である。王が住む建物ではないのか、ここに住んでいたのは卑弥呼なのか？

5. 2010 年 7 月、王の建物が見つかった隣に調査拡大

20 数年以上この遺跡を担当する桜井市立埋蔵文化財センターの橋本輝彦氏を発掘調査リーダーとし、400 m²のエリアの調査に入った。長さ 4.3m 土の色が変わったところや土杭の跡が見つかる。これまでは多くの土杭が見つかっており、土器や木製品など 1,000 点以上出土していた。その中には日本最古の木製仮面、祭りの場で巫女が踊ったもの、また神に捧げるような大切なものがあった。この土杭は主の館とみられる大型建物のすぐ隣で見つかっており、主と密接に関わるものが埋められている可能性がある。

6. 女王卑弥呼はどこにいたのか

邪馬台国はどんな王国だったのか。それを窺い知る記録はたった一つしかない。中国の歴史書「三国志」の一節『魏志倭人伝』。この中の 2,000 字の記述だけが邪馬台国と卑弥呼について遺された手掛かりである

7. 3 世紀、倭国と呼ばれた日本列島

中国では漢王朝が滅んだあと、魏呉蜀の三国がせめぎ合っており、その中で魏が交流した国として邪馬台国は登場する。倭人伝に正確な所在地の記載はなく、邪馬台国までの行程としてきちんと辿ると列島のはるか南海上に出てしまう「水行十日陸行一月」としか記されていない。しかし、邪馬台国の特徴をわずかながら伝えており、その一つが王国の施設の事である。王の住居とする居処・宮室(政治棟)・楼観(物見やぐら)・城柵があったとされる。その居処が 2009 年発掘された

例会報告

館と見られる。

8. この館の存在で邪馬台国が纏向にあったと言えるのか

近畿と並ぶ邪馬台国の候補地、九州・佐賀の吉野ヶ里遺跡では倭人伝が伝える4つの施設が全て見ついている。さらに九州では、武器や農具など2,000点以上の大量の鉄製の道具が出土している。

9. なぜ、鉄が邪馬台国の根拠なのか

「三国志」には、朝鮮半島の鉄を倭国の人が採りに来たという記述がある。鉄は近畿ではほとんど見つかっておらず、北部九州は地の利を生かし、鉄を豊富に確保する事が出来た。倭人伝は「互いに争って倭国は乱れた」と記している。2世紀の終わり、この倭国の動乱を治めて主に立ったのが卑弥呼であり、北九州説では、「鉄を制するものが国を制する」として、卑弥呼がいたのは鉄の武力で国々をまとめる事が出来た北部九州だと考えられている。

10. 一歩出遅れた(?)纏向遺跡

昨年土杭を30cm掘り下げた時、土器の破片が次々現れた。土器の表面には文様が描かれている。丸い線が渦を巻くように重なった独特の文様である。組ひも状の狐帯文は吉備がルーツである。次に山城(京都南部)や近江の系統の土器が出てきた。四国の土器も出てきた。

11. 全国から人が集まっていた纏向

九州から関東に至るまでの土器がこれまでに多数出土してきた。これほど広い範囲の土器が出土するのは、九州には見られない纏向だけの特徴である。

12. 連合国家 邪馬台国

倭国乱れた2世紀終わり、卑弥呼が女王となった状況を『倭人伝』は「共立」と記している。女王卑弥呼を共に立てて主とした邪馬台国はおおよそ30の国々によって作られた連合国家の都だと伝えられている。列島各王国の土器が集まっていることから纏向も国々が連合してつくった都だったと思われる。

13. 2010年夏、猛暑の中で銅鐸が発掘される

またスタッフが土の変化に気付いた。青銅の破片、銅鐸の破片であった。銅鐸は弥生時代、日本独特に発達した青銅器である。人々は祭りの場で銅鐸を鳴らして神を呼び豊作を祈ったと考えられている。

14. 邪馬台国では銅鐸の祭祀は行われていないのでは

『倭人伝』の中には「鬼道につかえ能く衆を惑わす」とあり、鬼道と呼ばれる祈りを用いて国々をまとめたという卑弥呼。鬼道は卑弥呼が王になる前から存在した銅鐸の祭りではないとされている。

15. 壊れたものではなく壊している

兵庫県立考古学博物館 館長 石野 博信さんは、銅鐸が完全なすがたでなく破片で見つかる事に注目。青銅は銅に錫を混ぜた硬い合金であり自然に壊れるものではない。銅鐸は意図的に壊されたのか?もしそうなら銅鐸の神を捨てたという事が成り立ち、卑弥呼の存在と矛盾しない。銅鐸そのものを大きなハンマーでたたいても割れない。熱を加えた上ハンマーで叩くと割れた。出土したものと同じ割れ方であった。つまり弥生の神を否定した事につながる。

16. なぜ弥生の神は否定されねばならないのか

名古屋大学教授 中塚 武さんは樹木に含まれる物質から過去の気候変動を研究している。邪馬台国が生まれた時代の年輪について特定の酸素原子の割合を測定し、都市ごとの降水量の変化を解析した。卑弥呼が主となった2世紀の終わり、その直前の倭国の動乱期に注目すると、大雨と干ばつが数十年単位で入れ替わる気候が続いていた。異常気象は卑弥呼が主となった直後によく治まった。異常気象は東アジア全体をも襲っており、農民による黄巾の乱(184年)が起り、漢王朝が滅亡する。朝鮮半島では大飢饉が国土を荒廃させたと記録にある。倭国では銅鐸に豊作を祈る人々が追いつめられていた。

17. 弥生の神を捨て去り、卑弥呼の鬼道を導入

人心を掌握するため銅鐸の祭祀から新たに鬼道を導入したのだと推測される。しかし纏向から鬼道を示すものは見つかっていない。

18. 2010年 調査開始から2カ月、かごの発見

竹で編んだかごが見つかる。竹のかごは邪馬台国の決定的な証拠となる可能性があった。倭人伝によれば「親魏倭王」と掘られた金印や鏡が贈られたと記されている。その贈り物は装封されていたという。装封とは、古代中国の特別な包み方を意味し、ひもの結び目は封泥という粘土で固められていた。

19. 木の剣、水鳥の骨、猪の歯、魚の骨 出土

誰もが首をかしげる不思議なものが出てきた。桃の種である。ひとつ残らず集めると2765個。これまで発掘された事のない想像を絶する量である。

20. 桃の種は何のために使われたのか

同志社大学の辰巳和弘さんは、卑弥呼の鬼道と桃のつながりを調査した。実の直径は4cm、一般の桃より小ぶりである。桃を仙果(仙人の果物)とした祭祀とはどのようなものか?中国の思想なのか?

21. 鬼道を民に導いた張魯

「三国志」では張魯が鬼道を民に導いたと記されているが、張魯は道教を広めた人である。従って鬼道とは道教を示すともいわれる。道教と纏向の桃と結び付くのだろうか。

22. 2世紀後半、中国で広まりつつあった道教

道教の聖地、湖北省武当山では、険しい山に寺院が点在している。初期の道教は、漢王朝が滅亡に向かう混乱した世の中で、中国古来の様々な思想が融合して生まれた。祭壇に祀られているのは桃であった。桃は疫を祓い不老長寿をもたらすとされた。修行の上に不老不死を得た仙人、その神に桃が捧げられていた。

23. 中国において宗教的に重要な役割を担う桃

漢の時代の銅の鏡に描かれているのは神仙思想という古代の信仰で、神に捧げられているのは桃である。桃は女性を象徴し、生命の源とされる。纏向の祭祀もこの桃を使っており、卑弥呼は奈良にいた可能性が高い。

24. 魏の都に使いを送っていた卑弥呼

239年倭が朝鮮半島に進出した翌年、魏の都洛陽に卑弥呼は使いを送っている。そこで卑弥呼は倭国の王として認められた。卑弥呼に贈られた金印には「国中の人に示して魏との関係

例会報告

を知らせなさい」と記されている。魏とつながりをもつことは、政治的に重要であり、周辺国の王はそれを心から願った。

25. 皇帝の権威を利用した卑弥呼

東アジアで絶大な力を誇った魏、その脅威にさらされながらも卑弥呼は国々をまとめる求心力として魏とのつながりを利用したと言える。

26. 2010年10月上旬、決定的証拠は見つからず調査終了

出土したのは日本各地の土器、12種類の動物や魚の骨、木製の祭祀用具など50点、そして桃の種2765個。祭祀の道具と供え物が一式。王宮の主が卑弥呼本人だったという決定的な証拠は得られなかった。

27. 鬼道が行われた痕跡の発見

しかし、桃の発見で纏向と中国とのつながりが浮かび上がった。政治改革や宗教改革が行われた大変革期。明治維新のような動きがみられ世の中の変革の動きそのものである。王宮でどんな儀式が行われていたのか？

またこの春、纏向では次の発掘が行われようとしている。邪馬台国はどこにあったのか 日本という国の始まりを解き明かそうとする挑戦はこれからも続く。

<ニコニコボックス>

●鍋島 勝雄さん

昨日、洲さき節分会に出席して楽しい一夜を過ごさせて頂きました。伝統文化を大切にしたいと思いつつ、来年度の当番に古橋さんが当たりました。頑張ってください、楽しみにしています。また、河渡さんのスピーチよろしくお祈りします。村瀬さんお帰りなさい。待っておりました。

●中村 良平さん

村瀬さん、お帰りなさい。首を長くして待っていました。

●村瀬 勝彦さん

手術入院とは言え、会員増強委員長を拝命してすぐに、半年近くも休会しまして誠に申し訳ありません。また、入院中は当クラブよりお見舞いを賜り、まことにありがとうございました。今後は精一杯出席して頑張る所存です。会員増強委員会共々、よろしくお祈りいたします。

●阪下 六代さん

村瀬勝彦さん待望の例会復帰。お元気そうな姿に接し、とにかくニコニコ。

●伊藤 松寿さん、井辺 章さん、内田 幸洋さん、遠藤 隆浩さん、小田 司さん、岡田 賛三さん、垣内 秀文さん、蜘蛛 康介さん、小林 勝一さん、小森 丈一さん、斎藤 章さん、田近 毅さん、田中 武さん、中林 和夫さん、野戸 守さん、挟土 貞吉さん、平 義孝さん、洞口 良一さん、堀川 和土さん、門前 庄次郎さん、山本善一郎さん、米澤 久二さん、脇本 敏雄さん

村瀬さんお帰りなさい！首を長くしてお待ちしておりました。養生しながら頑張ってください。

●田中 正躬さん

今日は高山地区そさい出荷組合の総会があります。高山地区出荷額は350億を超えていますが、今日は私にも何か賞をくれるとの事です。嬉しい限りです。

●折茂 謙一さん

ロンドン大学大学院を卒業してイギリスにいた四女が東海大学医学部編入試験に合格しました。わが社の発展に寄与してくれるだろうと思います。

●内田 幸洋さん

2/2 岐阜新聞の近況欄に載せていただきました。写真うつりがいまひとつだったのが残念です。

●三浦 弘行さん

来月で高山へ赴任してまる二年になります。今年の冬は特に高山の寒さの厳しさを昨年以上に感じています。お陰様でお取り引き先も増え業績もまずまずです。まだ数年高山でお世話になります。何卒よろしくお祈りします。

●寺田 昌平さん

アジアカップ全日本対オーストラリア決勝、テレビ放映延長の最終まで観戦。1対0で見事優勝しました。やったー！！ザッケローニ監督の手腕さすが。3月モンテネグロ、ニュージーランド戦に期待し少し。

●垂井 政機さん

きのうは節分でした。私は句など詠めませんので他人様の句を紹介します。「鬼やらひ せりふもどきに なりもする」これは成田山新勝寺の節分豆まきで、中村吉右衛門が詠んだ句です。なにやら鬼平が彷彿とされて嬉しい。その他「使わざる 部屋も灯して 豆を撒く」いく子「病む妻の 裾に豆撒く四粒ほど」不二男。例会長期欠席すみませんでした。妻のお祝い花束ありがとうございました。

●挟土 貞吉さん

①前に座っていますので。

②ミニソフトバレー続けていただくようお祈りします。

●遠藤 隆浩さん

河渡さんスピーチよろしくお祈りします。2月2日で47歳になりましたが、50近いという実感が全くありません。ある日突然老ける様な気がします。お祝いありがとうございます。

●河渡 正暁さん

丁度1ヶ月後の3月4日(金)に「ふるさと再発見」をテーマに『飛騨高山ドキュメンタリー映像祭』が開催されます。22回目となる今回、作品のテーマは一般の部「飛騨高山」、そして学生の部は「夢、つながり」です。昨年に引き続いて、私は審査員の一人に加えられました。力不足ではございますが、清く正しく、そして美しく、思いを力にしていきたいと思えます。心を打つ感動の場面もあります。是非ご鑑賞下さい。3月4日6時、文化会館大ホールで行います。